

令和2年三重県議会定例会  
医療保健子ども福祉病院常任委員会

説明資料

【所管事項説明】

- 1 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和元年度分）

頁

1

令和2年10月12日  
病院事業庁

【所管事項説明】

1 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和元年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名： 病院事業庁

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立志摩病院(志摩市阿児町鶴方 1257)
指定管理者の名称等	公益社団法人地域医療振興協会 理事長 吉新通康 (東京都千代田区平河町 2-6-3)
指定の期間	平成 24 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療等に関する業務</li> <li>・利用に係る料金の收受等に関する業務</li> <li>・手数料の徴収に関する業務</li> <li>・施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・その他志摩病院の管理上必要と認める業務</li> </ul>

2 施設設置者としての県の評価

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H30	R1	H30	R1	
1 管理業務の実施状況	B	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い疾患に対応できる体制の構築や住民の医療ニーズへの適切な対応など診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。</li> <li>・利用に係る料金の收受等を適切に実施した。</li> <li>・利用者の利便性を最優先に、売店や食堂等の運営、施設・設備の維持管理及び修繕を適切に実施した。</li> </ul>
2 施設の利用状況	C	C			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病棟の運用や地域医療支援病院としての役割を果たす中で患者の確保を図るとともに、内科系救急では、24時間365日体制での患者受入れを継続し、志摩地域の救急医療に貢献するなどしたが、患者数は前年度の実績を下回った。</li> </ul>
3 成果目標及びその実績	C	C			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各指標で成果目標の達成には至らなかった。</li> </ul>

※「評価の項目」の県の評価： 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。  
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。  
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>令和元年度においても、幅広い疾患に対応できる体制を維持し、診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院診療では、地域包括ケア病棟で令和元年10月からリハビリ目的の患者の受入れを開始するなど住民の医療ニーズに適切に対応した。</li> <li>・外来診療では、小児科で常勤医師が欠員となる中、速やかに協会内病院や三重大学医学部附属病院からの医師(非常勤)派遣を調整し、診療体制を維持した。</li> <li>・救急診療では、内科系救急における24時間365日体制での患者受入れを継続(救急搬送患者数:2,024人)するなど、住民の切迫した医療ニーズにも適切に対応した。</li> <li>・地域医療支援病院としての活動(地域の医療機関との紹介・逆紹介、医療機器等の共同利用等の推進)やへき地医療拠点病院としての活動(志摩市間崎島への月2回の巡回診療)などを通じて地域医療にも貢献した。</li> <li>・施設の利用状況・成果目標については、各指標で目標値の達成には至っておらず、指定管理者による十分な要因の分析、対策の実施が必要である。</li> </ul>
--------	--

## 【所管事項説明】

### <指定管理者の評価・報告書(令和元年度分)>

指定管理者の名称:公益社団法人地域医療振興協会

#### 1 管理業務の実施状況及び利用状況

##### (1)管理業務の実施状況

###### ① 三重県立志摩病院の管理運営事業の実施に関する業務

- ・令和元年度の病院運営は、26名（常勤医24名、初期研修医2名）の診療体制でスタートし、引き続き、業務の効率化を図りながら、診療機能の維持・充実及び地域医療への貢献に努めた。
- ・入院診療は、2次救急病院として救急患者や紹介患者を受け入れるとともに、回復期機能である地域包括ケア病棟（3・6病棟）を運用し、令和元年10月からはリハビリ目的の患者を受け入れるなどした。
- ・外来診療は、小児科で常勤医師の定年退職に伴い常勤医師が欠員となったため、三重大学医学部附属病院や協会内病院からの医師派遣を受けて診療体制を維持（非常勤医師による診療）するとともに、常勤医師の確保に努めた。また、令和2年3月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大（不要不急の外出自粛等）により、外来（救急を含む）患者の受診控えが見受けられた。
- ・救急医療は、内科系で平成28年5月から24時間365日の患者受入れを実施してきたが、医師の減員に伴い、平成31年4月から日曜日準夜・深夜帯の受入れを一部制限した（7月中旬以降は医師の配置に伴い制限を解除）。
- ・健診事業は、病院事業庁により健診室が増築され、専用のマンモ検査室が確保できたため、今後、対応の強化を図っていく予定である。
- ・地域医療支援病院（平成29年10月承認）として、一次医療を担う地域の医療機関との紹介や逆紹介の推進、入院加療や救急患者の受入れ、専門外来の診療、医療機器の共同利用、地域の医療関係職員の研修などを実施した。
- ・平成30年4月開始の通所リハビリテーション事業は、前年度に比べて利用者が増えており、今後も、地域ニーズをふまえた運用を図っていく。

###### ② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・建物（一般病棟、管理・検査棟、精神病棟）は築後約30年が経過し、設備も老朽化が進んでいるため、経年劣化による修繕対応が増えている。令和元年度は、病院事業庁が精神病棟の外壁改修や病棟エレベーターの改修工事を実施し、病院側では管理検査棟機械室貯湯槽、空調機の修繕等を実施した。
- ・医療機器は、病院事業庁が計画的に更新しているが、耐用年数を超えているものも多く、修繕による対応を余儀なくされている。
- ・診療材料、医療消耗品は、SPD（物品管理）委員会において定期的に使用状況を把握しながら定数を管理するとともに、薬品は積極的に後発医薬品へ切り替えるなど経費削減に努めた。

###### ③ 施策への配慮に関する業務

- ・へき地医療支援機構（事務局）として代診医の派遣調整を実施した。また、志摩市間崎島への巡回診療を月2回（内科系・外科系）実施し、島民に受診の機会を提供した。
- ・「女性が働きやすい医療機関（平成29年3月県認証、令和2年3月再認証）」として、女性の就労環境等の改善に努めた。
- ・省エネルギー対策（こまめな消灯や照明の間引き、電球の一部LED化など）を実施した。
- ・思いやり駐車区画を正面玄関付近と立体駐車場に設け、適正な利用について啓発を実施した。

###### ④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・関係法令に基づいて規程を整備、個人情報管理責任者を配置し適切な管理を実施した。

###### ⑤ その他の業務

- ・地域連携センターでは、地域の医師会、介護・福祉施設、関係団体等と顔の見える関係を築くとともに、地域の中核病院として、専門職員対象の研修会（14回）や、医療、介護、消防、行政、民生委員など幅広い関係者が参加する地域まるごとケア交流会（2回）を実施した。
- ・各地域での出前学習会（6回）、地域住民対象の学習会（6回）など幅広い活動を実施した。
- ・地域住民によるボランティア組織「うさぎの会（平成26年4月発足）」により、院内の案内、声掛け、車椅子の手伝いなど来院者の支援活動が継続的に展開されている。

【所管事項説明】

(2) 施設の利用状況

	H30	R1
1日平均入院患者数	198.5人	194.2人
1日平均外来患者数	313.8人	296.4人
1か月平均救急患者数	483.8人	386.1人

2 利用料金の収入の実績

	H30	R1
入院収益	2,337,543千円	2,260,702千円
外来収益	904,057千円	860,919千円
その他医業収益	61,589千円	68,572千円

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	H30	R1		H30	R1
指定管理料	524,630,000	559,296,000	事業費	3,983,390,348	3,973,912,667
利用料金収入	3,303,189,976	3,190,192,304	管理費	66,438,000	64,139,000
その他の収入	71,264,975	61,287,145	その他の支出	5,745,601	8,520,375
合計 (a)	3,899,084,951	3,810,775,449	合計 (b)	4,055,573,949	4,046,572,042
収支差額 (a) - (b)	△156,488,998	△235,796,592			

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	1日平均入院患者数 300人/日 1日平均外来患者数 600人/日 1か月平均救急患者数 1,000人/月 経常収支比率 100% 利用者満足度 85%
成果目標に対する実績	1日平均入院患者数 194.2人/日 (H30実績:198.5人/日) 1日平均外来患者数 296.4人/日 (H30実績:313.8人/日) 1か月平均救急患者数 386.1人/月 (H30実績:483.8人/月) 経常収支比率 94.2% (H30実績:96.1%) 利用者満足度 75.2% (H30実績:76.6%)
今後の取組方針	志摩地域の中核病院として、地域の方々に安全かつ良質な医療が提供できるよう、引き続き諸課題の改善に努めるとともに、伊勢志摩地域医療構想で示された当院の役割に沿って、他施設と連携しながら地域包括ケアシステムを構築していく。 また、内科系救急の24時間365日の患者受入れを継続して行うとともに、地域医療支援病院として地域の医療機関等と連携し、患者の紹介・逆紹介の推進や専門職を対象とした研修、医療機器の共同利用等の充実を図る。さらに医師確保に努めるとともに総合診療医と専門医との連携による医療の充実を図り、収支改善に取り組んでいく。

【所管事項説明】

5 管理業務に関する自己評価

評価の項目	評価		コメント
	H30	R1	
1 管理業務の実施状況	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い疾患に対応できる体制の構築(総合診療医、内科医等の専門医や医療技術者等を確保)や住民の医療ニーズへの適切な対応(地域包括ケア病棟の運用、通所リハビリテーション事業、志摩市間崎島への巡回診療の実施等)など、診療機能の回復・充実及び地域医療への貢献に努めた。</li> <li>利用に係る料金收受等を適切に処理した。</li> <li>施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務を適切に実施した。</li> </ul>
2 施設の利用状況	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケア病棟の運用(長期間入院加療ができる病床として住民の医療ニーズに対応)や地域医療支援病院としての活動(病診連携の推進、地域の医療技術者への研修実施、医療機器の共同利用等の推進)など、入院・外来患者の確保に向けた取組を実施している。</li> <li>内科系救急では、平成 28 年 5 月から 24 時間 365 日体制での患者受け入れを継続(平成 31 年 4 月から令和元年 7 月までは日曜準夜・深夜帯の受け入れを一部制限)するなど、志摩地域の救急医療に貢献している。</li> </ul>
3 成果目標及びその実績	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院・外来患者数の減少等により、各指標(1日平均入院患者数、1日平均外来患者数、1か月平均救急患者数、経常収支比率、利用者満足度)とも成果目標は達成できず、前年度の実績を下回った。</li> </ul>

※評価の項目「1」の評価： 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→ 業務計画を順調に実施している。  
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。  
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」、「3」の評価： 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。  
「B」→ 当初の目標を達成している。  
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。  
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

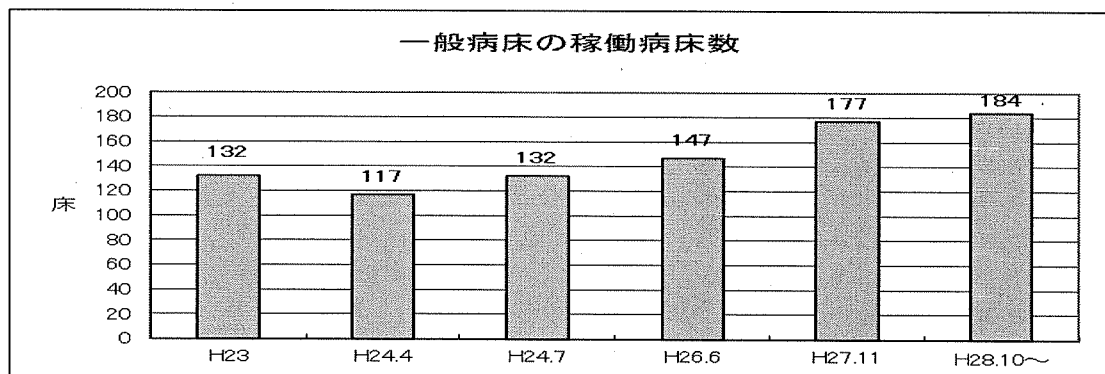
総括的な評価	<p>令和元年度(指定管理者制度への移行8年目)も、業務の効率化を図りながら診療機能の維持・充実を図り、地域医療への貢献に努めた。</p> <p>診療体制については、引き続き、医師の確保(主に協会等の研修プログラムによる後期研修医の確保)に努めた。</p> <p>入院医療は、急性期病床(一般病棟)と回復期機能である地域包括ケア病床(72床)を運用し、特に地域包括ケア病床では、令和元年10月からリハビリ目的の患者を受け入れるなど、地域の医療ニーズに的確に対応し、71,082人の患者を受け入れた。</p> <p>救急診療は、内科系救急において24時間365日体制での患者受け入れを継続(平成31年4月から令和元年7月までは日曜日準夜・深夜帯の受け入れを一部制限)し、地域住民に受診の機会を提供した。さらに、ドクターヘリとの連携による重症患者の受け入れも行った。</p> <p>外来診療は、小児科において常勤医師の定年退職に伴い常勤医師が欠員となったため、三重大学医学部附属病院や協会内病院からの医師派遣を受け、診療体制を維持(非常勤医師による診療)するとともに、常勤医師の確保に努めた。</p> <p>収支状況については、入院収益は、急性期病床及び精神病床の患者数が減少(地域包括ケア病床の患者数は増加)したため、前年度より減少した。外来収益は、一般科の患者数が減少(精神科の患者数は微増)したため、前年度より減少した。また、健診事業や通所リハビリテーション事業の収益は大きく増加した。</p> <p>施設・設備の老朽化等への対応や高額な医療機器の更新については、県と連携を密にし、計画的な導入に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う患者数の減については、引き続き、その動向を注視していく必要がある。</p>
--------	--

(参考) 指定管理者による志摩病院の運営状況

《① 診療科別常勤医師数の推移》

診療科等	指定管理移行後										参考 R2.10
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	5
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	29

《② 一般病床の稼働病床数の推移》

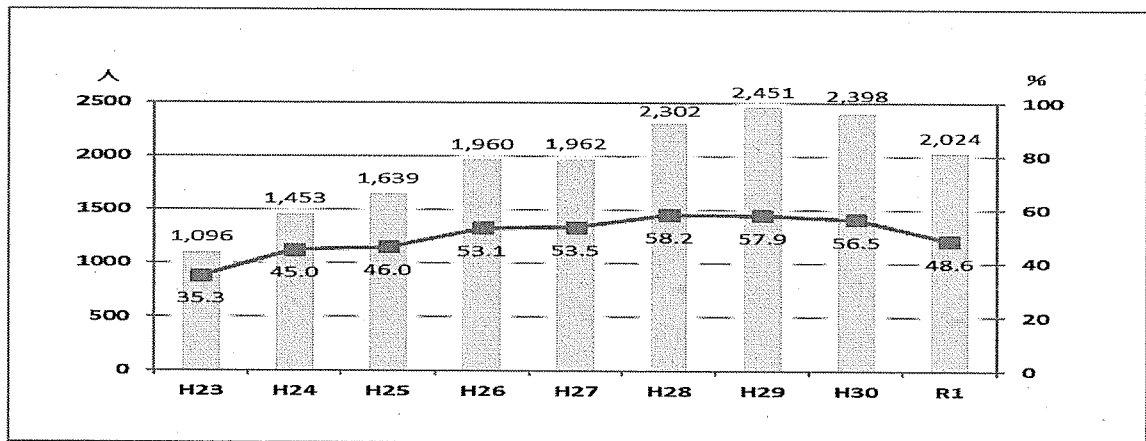


※許可病床数：236床

《③ 患者数の推移》

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
入院患者数	74,504	75,535	75,176	75,077	74,697	81,177	81,273	72,447	71,082
外来患者数	74,024	69,530	73,675	75,127	77,188	78,159	78,507	76,577	71,133

《④ 志摩広域消防組合からの搬送者数及び全体に占める割合》



※棒グラフ：搬送者数（人）、折れ線グラフ：全体に占める割合（%）

《⑤ 志摩病院の決算の推移》

(単位:百万円)

	指定管理移行前	指定管理移行後								
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	
①事業収益	2,593	2,769	2,930	3,033	3,066	3,359	3,476	3,322	3,207	
医業収益	2,534	2,721	2,876	2,971	3,000	3,291	3,404	3,249	3,126	
入院診療収益	1,712	1,926	2,040	2,129	2,128	2,396	2,507	2,343	2,264	
外来診療収益	822	795	835	841	873	896	898	906	862	
医業外収益	59	53	59	67	70	72	76	80	85	
②事業外収益(交付金・補助金等)	815	589	563	563	556	556	571	577	604	
収益計(①+②)	3,408	3,359	3,493	3,596	3,622	3,915	4,047	3,899	3,811	
③事業費用	4,437	3,923	3,943	4,006	3,955	4,138	4,112	4,050	4,038	
④事業外費用	196	1	5	8	8	6	5	6	9	
費用計(③+④)	4,633	3,924	3,948	4,015	3,963	4,144	4,116	4,056	4,047	
経常収支	▲ 1,225	▲ 565	▲ 454	▲ 419	▲ 341	▲ 229	▲ 69	▲ 156	▲ 236	
経営基盤強化交付金(赤字補てん)	—	565	454	419	341	229	69	156	(※2)	

※1 四捨五入のため、合計や差引が合わない場合があります。

※2 R1の経営基盤強化交付金の交付については、指定管理者と協議中です。

※3 H24以降は、減価償却費が含まれないなど、H23（指定管理移行前）とは一部異なります。

《⑥ 交付金の交付状況》

(単位:千円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
政策的医療交付金 (指定管理料)	450,247	465,881	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630	559,296
特例措置交付金 (看護師等への現給保障)	111,745	53,484	39,284	30,334	28,009	11,401	5,632	1,975
経営基盤強化交付金 (赤字補てん)	565,120	454,360	418,625	341,134	229,143	69,287	156,489	(※)

※R1の経営基盤強化交付金の交付については、指定管理者と協議中です。